

2012
京都混声合唱団定期演奏会

C. F. Gounod

Messe Solennelle
(ST. CECILIA)

林光編曲

混声合唱による
日本抒情歌曲集

2012.7.21(Sat.)18:30
京都市吳竹文化センター

主催／京都混声合唱団
後援／京都市
京都市芸術文化協会

ご挨拶

夏祭りの季節を迎え、空の青さも輝きを増してきました。
暑さ厳しい折、京都混声合唱団の定期演奏会にお越し頂き厚く御礼申し上げます。

本日は、一月に惜しくも逝去されました林光さんの日本抒情歌曲集より、名曲の幾つかを演奏いたします。いずれの曲にも美しい日本の自然や心が綴られており、これからも長く歌い続けていきたいと思えるものばかりです。一方、聖チエチーリア荘厳ミサ曲は、1989年に前常任指揮者の青山政雄先生に指揮して頂いて以来23年ぶりの演奏となります。その時バスのソロをされたのが現指揮者の藏田裕行先生でした。皆様方の中にもその時の演奏をお聴き頂いた方が居られると拝察し、団員も懐旧の思いひとしおでございます。

それぞれの音楽の持つ素晴らしさを少しでも皆様の心にお伝えできれば幸いに存じます。未熟ではございますがご鑑賞いただき、忌憚のないご叱声、ご指導をお聞かせ下さい。今後とも温かいご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げてご挨拶とさせていただきます。

平成24年7月21日
京都混声合唱団

プログラム

第1部

林光編曲

混声合唱による日本抒情歌曲集

箱根八里 かやの木山の 叱られて 待ちぼうけ 椰子の実
ゴンドラの唄 早春賦 曼珠沙華 この道 野の羊 鉢をおさめて

休憩

第2部

C.F. グノー作曲

聖チエチーリア荘厳ミサ曲

日紫喜 恵美 (SOPRANO) 松本 薫平 (TENOR) 小玉 晃 (BASS)

指揮 藏田裕行
ピアノ 宮北昌子
オルガン 三森尚子
合唱 京都混声合唱団



林光さんを偲ぶ

林光さんとの最初の出会いは 60 年安保騒動の時であった。私は当時東京芸大の学生自治会長をしており、連日学生を引き連れて国会へのデモに参加していたが、音楽人グループと合流することもあった。林さんはその音楽人グループに加わっておられ、直接言葉を交わすことはなかったがそれが最初の出会いとなつた。その後関西二期会の公演で林さんの曲を取り上げることが多くなり親しくお付き合いさせて頂くことになった。彼の音楽の素敵さはてらいのない素直さだろう。型にはまった形式主義を嫌い、「歌への素直な好奇心や喜びを大切に、明るく柔らかい声で歌ってゆこう」をモットーに誰にも分かる歌作りを目指しておられた。形式主義を嫌う林さんの姿勢はスピーチからも窺えた。堅苦しい前置きなしの自然体の話し振りは私の理想とするところであった。これまで彼のピアノで彼の作品を歌う機会を何度も持ったが、中でも一番思い出深いのが、二人のバリトンによる「二人の男」とい

う対話形式の連作歌曲であった。幼馴染の二人の男が久しぶりに出会い、昔を懐かしむものの、その後の環境が二人の間に大きな壁を作ってしまったことに気付き、虚しく別れていくといった話だが、心に残る美しい旋律が林さんらしい素直な筆致で紡がれてゆく。私はこれを彼の最高傑作だと思っている。美しい日本語、分かる日本語のオペラを目指して作られた「こんにやく座」の活動は特筆されるが、そのこんにやく座を今支えているのが京芸時代の私の生徒大石哲史なのも何かのご縁であろうか。彼の考え方生き様などは「林光音楽の学校」「林光歌の学校」などの著書で明らかである。

今日私達は林さんの編曲した日本の抒情歌を歌わせていただくが、そこそこに彼一流のユーモアが散りばめられていて実に楽しい。

林光亡き後も彼の音楽が深い共感を持って歌い続けられていくことを願っている。
(藏田裕行)

※「混声合唱による日本抒情歌曲集」を編曲された林光さんが、今年1月5日に逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

聖 チェチーリア荘厳ミサ曲

主としてオペラと宗教音楽の作品で知られる 19 世紀フランスの作曲家グノー。彼のオペラ、それは当時のフランスで流行していたイタリア風旋律美の過度の強調や過剰な劇的表現を排したもので、繊細な感性と程よい抒情性を好む眞のフランスオペラを先駆けるものであった。

一方、青年期のローマ留学におけるグレゴリオ聖歌と 16 世紀の教会音楽作曲家パレストリーナの清澄な響きとの出会いを原点に持つと思われる彼の宗教作品に認められるのも、グノーの名と共に誰もが思い浮かべるあの「アヴェ・マリア」が見せる、敬虔と節度ある抒情との美しい調和である。35 歳のグノーの名を一気に広めたとされる「アヴェ・マリア」の 2 年後、その上演が「19 世紀後半のフランス音楽の代表作」と絶賛されたと伝えられるのが、音楽の守護聖人の名を持つ、この「聖チエチーリア荘厳ミサ曲」であった。

5 部から成るミサの典礼文は、第 4 部「Sanctus」の後半「Benedictus」が独立の一曲となる、全 6 曲の構成である。そして「Sanctus」の直前にオルガンによって奏されるのは、次に続く聖体の神秘へと聴く者を誘(いざな)う、奉獻誦の美しさである。

このミサ曲を彩る音楽の表情、それは「Kyrie」冒頭のグレゴリオ聖歌を思わせる無伴奏ユニゾンの透明

感に始まり、「聖靈によりて宿り」と受肉の神秘を描く静寂、「復活した」と歓喜する爆発的な上昇音型などと様々な起伏を見せるとは言え、ここにも一貫するのは、グノー特有の節度ある表現の美しさである。

心惹かれること、それは「Credo」における「彼は復活した」の直前、十字架上の苦しみと埋葬を「passus et sepultus est」と歌う音楽が辿る、不安から光への動きである。そして遂に復活の歓喜を叫ぶハ長調への突入、これこそは、正に復活へのグノー自身の信仰の表明なのであろうか。更に「Gloria」の終りに近い「父の右に座し給う主よ、我らを憐れみ給え」の直後、彼は典礼文には無い「Domine Jesu！ 主なるイエズスよ！」の懇願の呼びを加えているのである。ここにも秘かに証(あかし)されているもの、それは恐らく、生涯に 2 度までも聖職者を志したと伝えられる、彼のひたむきな信仰であるのかもしれない。

「Dona nobis pacem. Amen. 我らに平安を与え給え、真に。」と曲を閉じるミサ曲とは、今やキリスト教会という場所を超えて、時代も宗教の違いをさえ超えた平和への全人的な祈りである事を信じたい。そして京都混声合唱団の今宵の演奏がグノーの音楽の力に支えられて、平和への確かな祈りとなることを信じます。

(元団員・牧マリ子)





蔵田 裕行 ◇指揮 *Hiroyuki Kurata*

京都市立音楽短期大学卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科独唱専攻修了。オーストリア政府給費留学生としてヴィーンに留学。ヴィーン国立音楽大学オペラ科、リート・オラトリオ科首席卒業。最優秀賞受賞。在欧中、ヴィーンアカデミー室内合唱団員として活躍したほか、1976年ヴィーン音楽祭、オーストリア初演ハイドン作曲「オルフェとエウリディーチェ」にてソリストとしてジョーン・ザザーランド、ニコライ・ゲッダと共に演じた。帰国後はリサイタル、オペラ、オラトリオと多方面にわたって活躍するほか、1968年～2001年京都市立芸術大学での教育活動により数多くの優秀な人材を育成した。1996年～2000年同大学音楽学部長。1987年「藤堂音楽褒賞」、2001年「京都市文化功労者」。NHK京都文化センター講師。京都市立芸術大学名誉教授。公益社団法人関西二期会理事長。日本シーベルト協会会長。財団法人東京二期会理事。日本オペラ連盟副理事長。1991年より京都混声合唱団常任指揮者。



日紫喜 恵美 ◇ソプラノ *Emi Hishiki*

京都市立芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。第1回大学院賞を受賞。オーストリア政府給費留学生として、モーツアルテウムに留学。その後、ロータリー奨学生としてミュンヘン音楽大学に留学。日本モーツアルト音楽コンクール第1位。日本音楽コンクール第2位。バルセロナ国際コンクール、ソプラノ・リリコレジエロ賞。ベルギー国際声楽コンクール第2位など受賞多数。オペラでは、日生劇場『魔笛』夜の女王として在学中に抜擢され、デビュー。以後『ドン・ジョバンニ』『フィガロの結婚』『後宮からの逃走』『魔笛』『セヴィリアの理髪師』『ナクソス島のアリアドネ』『ばらの騎士』『こうもり』『ヘンゼルとグレーテル』『愛の妙薬』『ランメルモールのルチア』『つばめ』『リゴレット』『ファルスタッフ』『椿姫』等を主演。小澤征爾指揮、ローラン・ペリ演出の『ジャンニ・スキッキ』では、唯一の日本人女性としてホセ・ファン・ダム、ロベルト・サッカラと共演。また佐渡裕指揮『キャンドイード』クネゴンテ日本初演。その後も主演を重ね、宮本亞門演出によるミュージカル舞台にも参加。更に新境地を拓いている。ハンガリー、チェコ、ブルガリア・ソフィア音楽祭、ロシア・サンクトペテルブルク、韓国・FIFA公式演奏会をはじめ、ドイツ、オーストリア、イスラエルなど7カ所で『リゴレット』を主演するなど海外でも活躍。命中度の高い凛とした歌声。華麗なテクニックと豊かな情感を持ち、圧倒的な感銘を与えるコロラトゥーラ・ソプラノとして注目されている。

R. グリスト、R. ベッシュ、R. クノール、佐々木成子、蔵田裕行各氏に師事。関西二期会会員。京都市立芸術大学専任講師。愛知県立芸術大学講師。



松本薰平 ◇テノール *Kunpei Matsumoto*

京都市立堀川高等学校音楽科（現、京都市立京都堀川音楽高等学校）を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。高橋大海氏に師事。大学卒業後、渡伊。フィオレンツァ・コッソット、イーヴォ・ヴィンコ、エディット・マルテッリ、ダンテ・マツツオーラの各氏に師事。1999年関西二期会35周年記念オペラ「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビューし、その後「蝶々夫人」ピンカートン、「カルメン」ドン・ホセ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドウ、「ランメルモールのルチア」エドガルド、「椿姫」アルフレード、「リゴレット」マントヴァ公爵、「外套」ルイージ、「トロヴァトーレ」マンリーコ、「ドン・カルロ」ドン・カルロ、「オテロ」オテロ、「アイダ」ラダメス、「トゥーランドット」カラフ、「道化師」カニオ、「愛の妙薬」ネモリーノ、「ばらの騎士」テノール歌手、「こうもり」アルフレード、「魔笛」タミーノ、「コジ・ファン・トウッテ」フェランド、「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ、「マリア・ストゥアルダ」レスター伯ロベルト、「ラ・ファヴォリータ」フェルナンド、「ラヌスへの旅」リーベンスコフ伯爵、「ピア・デ・トロメイ」ギーノ、「沈黙」モキチなどに出演。



小玉 晃 ◇バス *Akira Kodama*

京都市立芸術大学大学院修了後、渡奥。ヴィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業。リートをW.モーア、オペラをR.ニックラー、発声を宫廷歌手M.ニコロヴァに師事。在欧中リサイタルの他、多数の演奏会に出演バロック作品の歌唱法及び解釈をM.v.エグモントに、リート解釈をH.ホッター、E.アーリング、E.ヘフリガー、W.ベリー他に学ぶ。ベートーヴェン『第九』、バッハ『マタイ受難曲』、『ヨハネ受難曲』、ヘンデル『メサイア』、モーツアルト、ブラームス、フォーレの『レクイエム』他、ソリストを数多く務める。指揮者としての活動にも力を入れており、カンタータやオラトリオは自らオーケストラを指揮しながらソロを歌うなど活動の幅を広げている。また、理論に基づいた発声指導には定評があり、多方面から指導依頼も多い。J.S.G.国際歌曲コンクール第1位。日本音楽コンクール入選。青山音楽賞、松方ホール音楽賞大賞他受賞。蔵田裕行氏に師事。関西二期会、日本シーベルト協会会員。MBSコンクール審査員。兵庫県立芸文センター合唱団、京響コーラス、パナソニック合唱団、混声合唱団La Fenice、一万人の第九他指導者。大阪音楽大学、同志社女子大学講師。日本ドイツリート協会副会長。<http://a-kodama.com>



三森 尚子 ◇オルガン *Naoko Mitsumori*

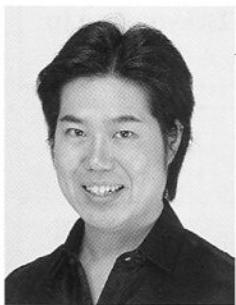
京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業。洗足学園大学音楽学部エッガー教授によるピアノマスタークラス修了。ピアノを山田淳子、下村和子、マックス・エッガーの各氏に師事。同志社女子大学学芸学部音楽学科嘱託講師、兵庫県立西宮高校音楽科非常勤講師として勤務する傍ら、ピアニストとしてリサイタル、協奏曲、室内楽、伴奏等に国内外で活躍している。

その一方で、1991年～94年、神戸松蔭女子学院大学教会音楽コースに在籍、修了直後の半年間、同大学チャペルオルガニスト不在期間の代理を務める。パイプオルガンを鈴木雅明、ウルリッヒ・ベーメ（ライブツィヒ・トーマス教会オルガニスト）の各氏に師事。国際オルガン講習会では、歴史的銘器での修了演奏等の奏者に選ばれる。リサイタル、協奏曲、モーツアルト室内管弦楽団通奏低音奏者、京都市立芸術大学管弦楽団客演オルガニスト、合唱団との共演等の他、香港文化中心コンサートホール主催の演奏会に招かれたり、イギリス・アーディングライ・カレッジ・チャペル、ロンドンの複数の教会でリサイタルを依頼される等、オルガニストとしても国内外で活動している。日本キリスト教団高槻日吉台教会音楽主任兼オルガニスト。



宮北 昌子 ◇ピアノ *Shoko Miyakita*

京都市立堀川高校音楽科（現・京都市立京都堀川音楽高校）を経て、京都市立芸術大学音楽学部音楽科ピアノ専攻卒業。ザルツブルク・モーツアルテウム音楽院マスタークラスに参加、セルジオ・ペルティカローリ教授の講座を修了、修了演奏会に出演。ピアノ・ソロ、デュオ、声楽・弦・管・打楽器とのアンサンブル、伴奏で多数の演奏会に出演。ピアノを山田淳子、故岩淵洋子、故マックス・エッガーの各氏に、チェンバロを春山操氏に師事。男声合唱団Eleisonsピアニスト。1988年より京都混声合唱団ピアニスト。



大谷 圭介 . ◇ヴォイストレーナー *Keisuke Otani*

京都教育大学教育学部数学科卒業。京都市立芸術大学大学院修了。オペラでは『フィガロの結婚』伯爵でデビュー。その後『魔笛』『ナクソス島のアリアドネ』『セヴィリアの理髪師』『ラ・ボエーム』『椿姫』『こうもり』等でいずれも主演。『セヴィリアの理髪師』フィガロでは、紙において「芯のしっかりとした演唱」と好評を得た。また『第九』はもとより、フォーレ、デュルフレ『レクイエム』、バッハ『口短調ミサ』、ベートーヴェン『ハ長調ミサ』などの宗教曲、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団など関西の主要オーケストラなどとの共演と、活動の場を広げている。声楽を饗場知昭、藏田裕行、故 G. Tadeo、田中勉、折江忠道の各氏に師事。なにわ芸術祭新人賞、高槻音楽コンクール第1位、摂津音楽祭リトルカメリアコンクール奨励賞等受賞。関西二期会員。京都教育大学音楽科非常勤講師。『一万人の第九』指導者。京都市立芸術大学大学院（後期）博士課程在学中。京都混声合唱団は'98年から指導にあたっている。



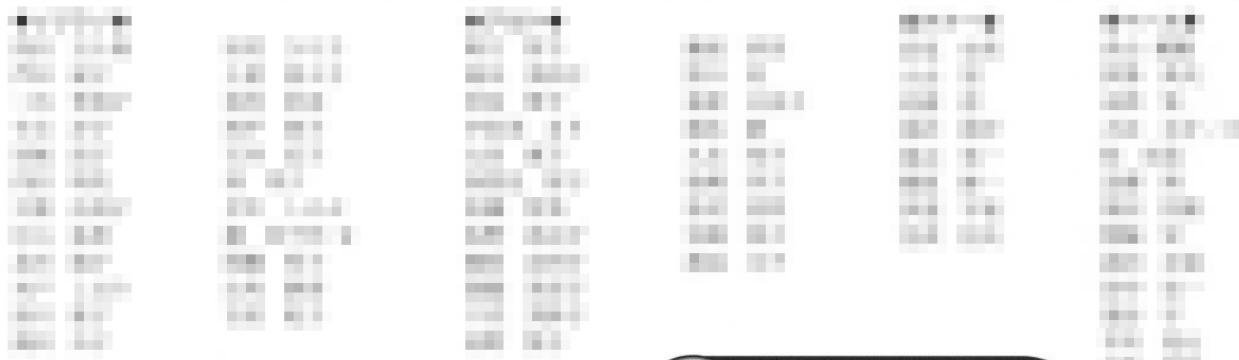
藤 美千代 ◇ヴォイストレーナー *Michiyo Fuji*

同志社大学文学部英文学科卒業。3年半の会社勤務を経て、京都市立芸術大学音楽学部声楽専修に進学、1998年卒業。第9回P.I.A.JAPAN 音楽コンクールドイツリート部門銀賞。その後歌曲研究会ソフレスの会を中心に研鑽を重ね、同会主催のコンサート等に多数出演。ドイツ歌曲、フランス歌曲からキャバレーソングに至るまで、幅広いレパートリーを100曲以上発表してきた。また、2010年4月にはピアノ技術センター主催コンサート「ウィーンの香り～オペラ・オペレッタの楽しみ方」を企画、ジョイントリサイタル形式で出演。2011年1月には京都・京都西政経文化会主催コンサート「音楽のコース料理を召し上がり」を企画、リサイタル形式でオペラアリアをプログラム、演奏した。また、アマチュア時代より多くの合唱音楽に携わり、殊に宗教音楽に造詣が深い。声楽は藏田裕行、故・手島孝教氏に、歌曲解釈を益子明美氏に、日本歌曲を開拓子氏に師事。関西二期会準会員。2005年より京都混声合唱団ヴォイストレーナー。

京都混声合唱団 *Kyoto Mixed Chorus*

1925年頃、京都の音楽家たちによって芽吹き、翌1926年、京都在住の「同声会」（東京音楽学校同窓会）メンバーに音楽愛好家が加わって正式に発足。1947年、人文学園合唱団、京都市民合唱団と合同し、新生・京都混声合唱団として再スタート。創立時は音楽の専門教育を受けた者の集団だったが、戦後は本格的にアマチュア合唱団としての組織づくりを始め、現在に至る。1991年には常任指揮者として藏田裕行（現関西二期会理事長）を迎え、創立以来取り組み続けている宗教大曲の演奏を中心にしながら、2009年にはオペラの舞台にも参加するなど活動の幅を広げてきた。団員の年齢は20歳から80歳を超える者までと幅広い。2013年秋には、びわこアーベントロート合唱団との合同演奏会でメンデルスゾーン「エリヤ」の演奏を予定している。

合唱出演者 ★…ヴォイストレーナー



ピアノ楽譜の専門店

CRESENDO
クレ森ンド

<http://www.panamusica.com>
TEL 075-959-0070

楽譜は楽譜の専門店で

合唱楽譜の専門店

PANAMUSICA
パナムジカ

<http://www.panamusica.co.jp>
TEL 075-952-8762

団員募集中！
京都混声合唱団

メンデルスゾーン「エリヤ」
2013年11月3日(日)

京都混声合唱団

&
びわこアーベントロート合唱団
合同演奏会

指揮：広上淳一
独唱：谷村由美子(S)
福原寿美枝(A)
竹内公一(T)
小玉晃(B)

管弦楽：京都市交響楽団
会場：京都コンサートホール

※初心者は適宜指導
※入団オーディションなし
■入団費 1000円（学生無料）
月団費 3500円（学生 1000円）
■練習時間：毎週金曜 19:00～21:15
(18:30より発声練習)
■練習場所：京都府薬剤師会館
2階ホール（東大路五条上ル東側）

◆練習見学大歓迎！◆
090-1226-1717
(京都混声合唱団)

<http://kyou-kon.jp>
info2@kyou-kon.jp

※本日の演奏会のご感想等も、上記メールアドレスへ頂ければ幸いです。



✿ 新装開店 ✿

2012年7月27日(金)

四条河原町より移転致しました。

祇園いちむら

月ヶ瀬

京甘味処

www.tsukigase.jp

男声合唱団 Eleisons

【第10回記念演奏会】2013年2月予定
曲目：ケルビーニ「レクイエム」他

！団員急募！

- ・入団資格：(1) 男性であること (2) お酒好きであること
- ・練習：隔週土曜日 18:30～20:30
カトリック西陣教会（今出川新町下ルすぐ）

詳しくは Web で！

Eleisons

検索





ご婚礼家具・和洋家具・室内装飾

創業 1856 年



株式
会社

宮崎

〒604-0805 京都市中京区夷川堀町西入
電話 075-231-6337 FAX 075-231-1230

E-mail kyouto-ebisugawa@miyazakikagu.com
URL <http://www.miyazakikagu.com/>

京都・町中の車屋



マイカーナカギョウ

京都・町中の車屋

京都の町で車屋です。

一般車輌整備から、競技車輌の製作まで、
車・バイクの事なら何なりとお尋ね頂けましたら
幸いです。

マイカーナカギョウ



阪急電車 京都線 西院駅 徒歩 5 分
JR 二条駅 徒歩 8 分
ご連絡頂けましたら、駅までお迎えに行きます。

- 〒604-8856
- 京都府京都市中京区壬生西大竹町 5 番地
- TEL 075(811)3837
- FAX 075(812)4456
- 緊急連絡先 090(8885)3837
- email mcn@crux.ocn.ne.jp
- 営業時間 10:00~20:30 定休日 水曜日



6



醤油を超えた。



淡口醤油のヒガシマルに、

年に一度しかつくれない醤油があります。

播磨産の原料を厳選し、春に仕込んで秋に搾る、

限定醸造 淡口醤油「龍野乃刻」。

ご賞味いただければ、幸いです。

すべて播磨産という、こだわり。

【ご予約受付中】



限定醸造 たつのとき
淡口醤油 龍野乃刻® 通販限定

- 1箱 310ml × 2本 1,785円(税込)
- 1箱 310ml × 6本 5,250円(税込) ※送料別

原料はすべて播磨産を使用しています。

「龍野乃刻」はヒガシマル醤油株式会社の登録商標です。

ヒガシマル醤油

検索

0120-168-014 FAX.0791-63-9065
お申し込みは…受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日除く) インターネット:www.higashimaru.co.jp/

おいしさをずっと、400年。
東ヒガシマル醤油株式会社

〒679-4167 兵庫県たつの市龍野町富永100-3

●限定醸造ですので、申し込み数が満了となった時点で締め切らせていただきます。●お届けは2012年11月上旬からを予定しております。※お届けが、若干前後することがあります。●お支払いはお振込(コンビニエンスストア・郵便局)にて、商品到着後14日以内にお願いします。※代金引換にてお支払いをお願いする場合があります。●送料は、全国一律500円 ※同一お届け先の場合は、ご注文数に関係なく全国一律500円とさせていただきます。●返品のお申し出は、未開封に限り、商品到着後7日以内にお願いします(返送料はお客様負担)。●お預かりした個人情報につきましては、商品の発送および商品・キャンペーン等の案内にのみ使用させていただきます。お客様の個人情報をお客様の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)。お客様の個人情報はヒガシマル醤油(株)にて責任をもって管理させていただきます。